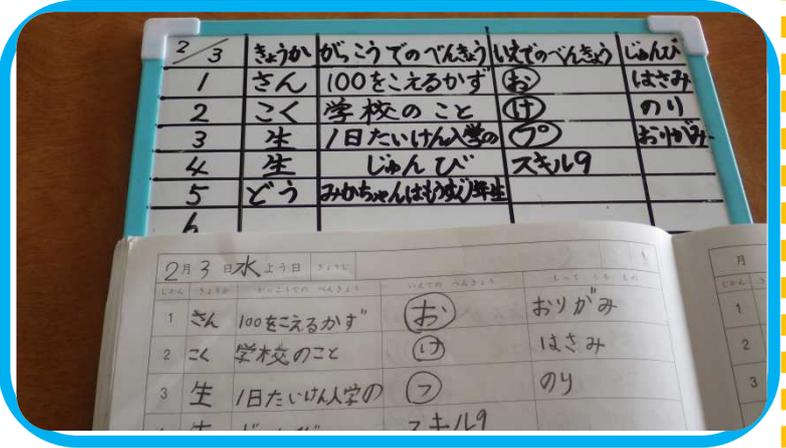


児童・生徒の実態

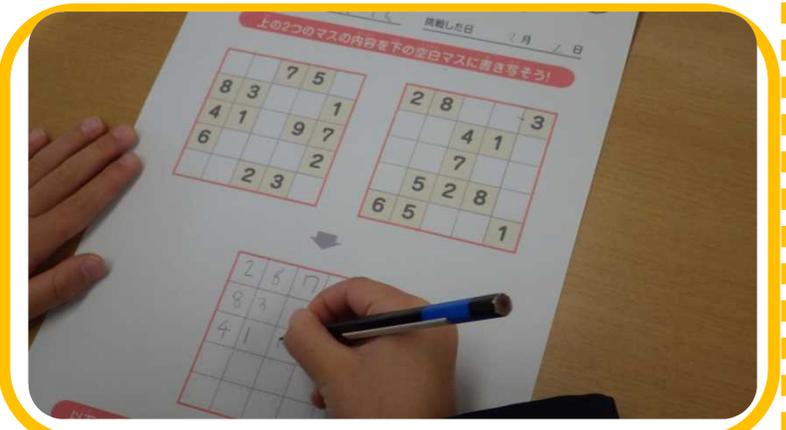
平仮名、片仮名はほぼ書けるが、計画帳を正しく写せない。

☆手立て

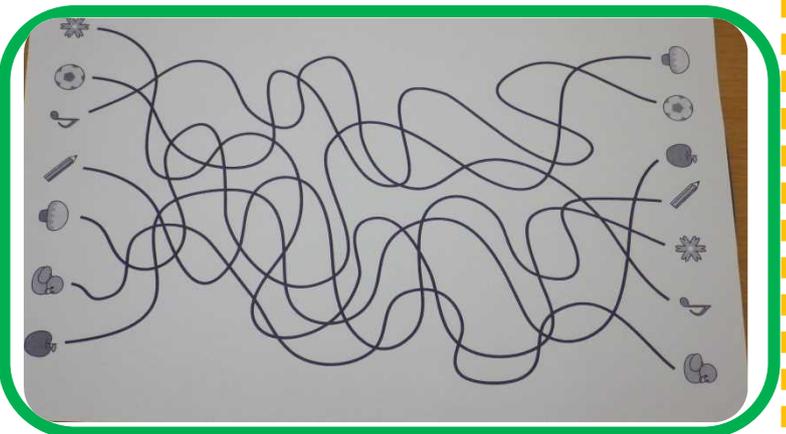
- 教師が、「明日の計画」をA4サイズのホワイトボードに書いておく。本人が、ホワイトボードを自分の机の上に置き、計画帳に視写する。書き忘れがないか、教師がチェックする。



- 視線をすばやく動かして書く力をきたえるために、市販教材を活用し、トレーニングを行う。(例：視覚発達支援ドリル、マスコピー)



- ビジョントレーニングを継続する。(例 線めいろ 同じマークから同じマークまでを指、鉛筆、眼だけを使ってたどる。)
- プリントの向きを変えて、上→下、下→上、左→右、右→左など、いろいろな向きをする。

支援を受けてみて

- 見やすくて、早く書けるようになってうれしいです。(本人)
- 計画帳を書かずに帰ったり、準備物や宿題が分からなかったりして困ることがなくなってよかったです。(保護者)